問い合わせ先

泗水図書館 **2**0968 (38) 6866 中央公民館図書室 ☎0968 (25) 1672 七城公民館図書室 ☎0968 (25) 1580 旭志公民館図書室 ☎0968 (37) 3111 内線303



クです。 国が読書に対する国民意識を高

閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日

日曜日・祝日 七城公民館図書室 旭志公民館図書室 日曜日・祝日 これは「国民読書年」のロゴマー

年」と定め、いろんな取り組みを 進めています。

この機会に読書をしましょう。

少年の

1

ケル

フォアマ

めようと、2010年を「国民読書

※図書のイベント情報は、32ページの行事予定へ掲載しています。

泗水図書館

新 青年社長 高杉 良 著 宇江佐真理 ほら吹き茂平 勝手にふるえてろ 綿矢りさ 著 路地裏ビルヂング 三羽省吾 著 泣きみそ校長と弁当の日 竹下和男 著 風にそよぐ墓標 門用降将 ホネホネすいぞくかん 西澤真樹子 著 ココロのヒカリ 元永定正 絵

中央公民館図書室

ぶらり日本史散策 半藤一利 著 今日を刻む時計 宇江佐真理 著 人生をいじくり回してはいけない 水木しげる 著 国松俊英 文 わざわざことわざことわざ事典全4巻 まんまるかがり おくはらゆめ 作

七城公民館図書室

アリアドネの弾丸 海堂 尊 著 へんしんマンザイ あきやまただし 著

旭志公民館図書室

居眠り磐音 江戸双紙シリーズ 佐伯泰英 著 いのちのまつり 草場一壽 作・平安座資尚 絵

図書情報管理システム導入の準備をしています

公民館図書室(中央・七城・旭志)では、現在、システム導

入の準備をしています。そのため、図書の一部が利用でき

なくなっています。皆さんには、大変ご迷惑をお掛けします

また、システム導入後は、利用カードが泗水図書館の

カードと統合されます。泗水図書館の利用カードを持って

いない場合は、公民館図書室でも作ることができるように

なります。申請時期については、また広報などでお知らせ

が、ご理解とご協力をお願いします。

戦争によって、鉄条網が張り巡らさ たんなある日、兵たいたちがブドウの木 でんの色がわき出しました。でも、そ さんの色がわき出しました。でも、そ いたこめて育てた少年のガドウの木。 でんの色がわき出しました。 灰色の生活 が 戦争によって、鉄条網が張り巡らさ は 戦争によって、鉄条網が張り巡らさ ちんなある日、兵たいたちがブドウの木 を いんなある日、兵たいたちがブドウの木 条網をこえて は大きく育って 二つの世界を舞台に再びます。翌年の春、鉄条網 す。少年は、かなしさと絶望にふるえも草花もすべてひきぬいてしまうので いつか鉄条網が つながる希望の木。 いきます。それは、 鉄条網で ブドウの芽 なるこ



(七城小4年)

とりどりの 色一色だっ 絵もすてきだと思いました。を信じているのです。私は、 の命あふれる絵へと変わり、った絵が少年の希望と共に色きだと思いました。最初は灰いるのです。私は、この本の

齋藤恭子さん

としょかんまつり

今年のとしょかんまつりは、11月7日(日)に開催します。

※ジャズコンサートで使います。

午前の部(午前10時30分~正午)

ワンダーぶんこの音楽と読み聞かせ、しすいっ子童話会の語り、 妻籠座の手づくり紙芝居があります。

訴えてき き れるこ

ことを教えてくないます。平和は心

は心に

いおろかさを強く

平和の大切さと戦争の

午後の部(午後1時~午後3時)

午後1時~ みんなで作ろう!手づくり楽器

午後2時~ THE BUDDAジャズコンサート 朗読「ベンのトランペット」

リサイクル図書の無料配布(午前10時~)

図書館で使用した雑誌や本を無料で配布します。(泗水図書館)

ンて言わんなぎのよる のごたる酔 - 気味の祝辞で **中島 五女** 別目はかすむ **義昭** 髙倉 田尻 高木 の並うどる の暮るる つ 払新い米 浩風 房恵 爪まぐれ 吊橋 風 星月夜星座は神の 我が庵闇を集めて虫の宿 まず菜虫とることより あ 0 りて花葛色の見えか とりこにし

たる葛

久びさに来し

阿蘇山

たる

田中で

中ひ

さ子

8

く風

なり

肌身に、

如くあり

中路中路

久子

見舞ひ 優し

郁子

用 ク

せ

し

風鈴

ij

ね

エ

寝巻きの

ままで日

ŧ

雨を連れて来

13

岩木

妙子

ろして庭師

スモスやち 扇昔 種子を飛ばせて蝶去り の店の名を連 れば疎遠の墓洗う いさき靴の誕生日 邦治 数恵 泊虹

風鈴

たきり

母慰むる

藤野

清子

コ

替

ふ

振り

涼連

れて来る夏の風

名月と知らずにいても美 しき 藤本ア ツ子 ダム湖には満々の水な 季境ふ雲映りゐる 場げし頃住みにし里の 歩きつつ話す息子の街 に札幌を聞く

¬の街の音携#

携帯

 \mathcal{O}

梅野カ

多電ヲぶ引

さふと浮か

雨足が涼風連れて駆けて来し

水谷

ミネ

青き山夏雲湧きて阿蘇はるか

古団

蝉鳴 白鷺の群 土用三郎か 朝餉の 中州 しま 中尾ヨシ

コ

道 幅覆 11 草 11 きれ 東 芳子

ア病

ハコーディーのみあがり

オ崽

ペンの肩に重たしるい出しては弾き

11

7

みる

遠慮し

5

で

耳

ス

ご遠と

ゆ

う

御手洗三代

かれ出

畦

草

 \dot{O}

遠慮し

ゆ

Ś

先 立

つも

ん

が乏しか

芹川のり子 立ち屈っ

hみにも苦痛の けミン広告! 広告記事 \mathcal{O} のありて記事が目にとまる

ヤ

く迎え下 頃の の窓 -さる我な 5 母さま笑顔にて

の元気を憶う心に写り過ぐ 過ぐ ベンリ I紗陽子 芳子

日の上吹きい 松岡みちえ

低く飛ぶオショロ¹ 見せたき浄土は遠し 見せたき浄土は遠し たり萩の 花咲く つ とんぼに秋を見た 吉安 矢野 悦子

水たゆ

たひて秋

昭永百枝

氏岡

梅田

暑さに灼かれ朱のいや増す種子こぼれ生えたる鶏頭其処かしこ

吾が老婆心福原美智温暖化氷山崩ゆる映像に陸地沈む 、咲き っつ想い居り夕**餉** つぐ百日紅君に 福原美智子 きと

んげいきくち

永子

します。